



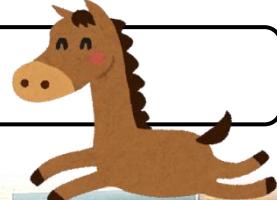
竹山小だより



令和8年1月

学校 HP もご覧ください

3学期、令和8年、午年のスタート！



地域・保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

冬季休業中も児童の見守りをお世話になり、ありがとうございました。1月7日（水）に始業式を行い、3学期がスタートしました。

始業式では、校長から①新しくなる体育館について、②地域の偉人である芦田恵之助先生についての2つの話をしました。

体育館については、暑い夏休みのころから、この冬休みの間もみんなのために工事されていたこと、1月の終わりごろには完成して、新しい体育館に入れることなどを、工事の様子の写真を見せながら話しました。6年生は一足先に工事中の現場も見ていましたが、さらに完成に近づいている体育館の様子を見て、さらに楽しみになったようです。

また、竹田の出身でもある芦田恵之助先生についても話をしました。恵之助先生の3つの教え

- ・時を守る
- ・場をきれいにする
- ・礼を正す



を竹山小学校では大切にしていることや、なぜこの3つの教えを大切にしているのかについて話しました。学校の敷地内に建てられている石碑にも刻まれている「共に育ちましょう」という言葉につながっています。「共に」には一緒に学ぶ友だちだけでなく先生も共に育つんだという思いが込められています。

始業式では、その中の「礼を正す」の1つでもあるあいさつについて、どのようなあいさつがよいか数名の児童に実際に声を出してもらいました。急な指名にもかかわらず、どの子もしっかりと声を出したり、目を合わせたりと気持ちのよい挨拶ができていました。1月の生活目標も「気持ちのよいあいさつをして全校生がつながろう」となっています。学校もそうですが、地域、家庭でもしっかりとあいさつができる竹山っ子になってくれることを願っています。



I. 17は忘れない ~阪神・淡路大震災メモリアル集会~

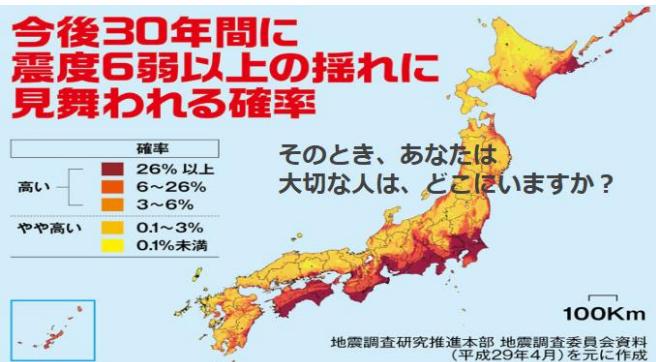
1995年1月17日のあの日から31年がたちました。その後も東日本大震災や熊本地震、能登半島地震があり、今年も山陰地方で地震が発生し、揺れを感じた方も多かったのではないでしょうか。竹山小学校では1月13日（火）にメモリアル集会を行いました。

集会では黙祷に続き、この夏に宮城県に研修に行った職員から東日本大震災の様子について話を聞きました。校舎の3階あたりまで津波が来たことや普段から避難訓練を真剣にやっていたからこそ助かった命があること、少しの判断の遅れで失われた命もあることなど、現地の写真など見ながら真剣に話を聞きました。

大切なことは、過去や遠い場所の話ではなく、災害はいつ起きるかわからないので、その時にどういった行動をとれるか、「いざというときに役に立つのは体で覚えていることだけ」ということです。普段から備えること、避難訓練に真剣に取り組むことなどをあらためて心に刻みました。

集会後には、各教室で防災の学習を行い、自分の身の守り方や31年前の様子などを学びました。また、避難生活では助け合って生きていかなければなりません。そのために普段から仲良くしたり人と関わったりすることの大切さも学びました。

阪神・淡路大震災の教訓を語り継ぐことが次なる災害に備える第一歩だといわれています。ぜひ、ご家庭でも報道に耳を傾けたり、当時の様子を子どもたちと話し合っていただいたりして、もしもの災害の時に備えていただきたいと思います。



自分たちで育てた野菜でクッキング～3年生ふるさと学習～

2学期に橋本農園さんにお世話になって土づくりと種まきをした有機野菜（大根、人参、小松菜、ほうれん草）を収穫しました。収穫した野菜は「ぽんぽ好」のみなさんと一緒に調理して、いただきました。自分たちで植えたものを育てて収穫して調理するという貴重な体験ができました。3年生の子どもたちにとって、愛着を持って育てた野菜は普段食べるものよりもより一層おいしく感じられたようです。



タブレットで野菜の成長を記録。



収穫した野菜の重さを測定。
これも算数の学習です。



収穫した野菜を早速調理。
4種類の料理ができあがりました。